

200L オープンドラム缶用
エア式ドラム缶用ろ過クリーナー

取扱説明書

■ APDQO-F



もくじ

1	安全上の注意
1 ~ 3	ご使用になる前に
4 ~ 7	使用条件・取付け方法
8	使用方法
9	こんなときは フィルターメンテナンス
10 ~ 12	仕様表・外形寸法・部品表
13	保証・アフターサービス

安全上の注意

- ・ この取扱説明書には、正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、使用方法を理解してください。
(誤った使用方法は事故等の原因となります。)
- ・ 取扱説明書は大切に保管し、何時でも見られるようにしておいてください。

危険

誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険が切迫して生じる事が想定される内容を示します。

警告

誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

ご使用になる前に

危険



○液の取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。
使用する液体については、液の取扱説明書を十分にお読みの上、正しくご使用ください。



○液に被爆したときは適切な対応をしてください。
液に被爆(誤って飲用した、皮膚に接触した等)した時は、液の取扱説明書に従い、適切な処置を行うか、医師の診断を受けてください。



○火気厳禁でご使用ください。
爆発の危険性のある液体・場所では運転前に必ずアース(接地)してください。静電気による引火の恐れがあります。

警告



- 安全な場所で使用してください。
幼児・子どもが触れない様、安全な場所で使用してください
運転中はポンプから離れないでください。



- 医師の診断を受けてください。
使用中、体調が悪くなったときは、すぐに医師の診断を受けてください。



- 保護服を着用してください。
液の取扱説明書に従い、保護服を着用してください。



- 分解や修理・改造は絶対に行わないでください。
通常時には、修理技術者以外の方は、分解や修理・改造は絶対に行わないでください。



- 新しい液を使用してください。
液体を替える時は、必ず前の液を完全に拭いて、洗浄してから、新しい液を使用してください。液体が混ざると、化学反応を起こす場合があります。

- 使用場所
使用可能液体温度は 0~60℃です。

注意



- 点検・修理をご依頼ください。
作動しなくなったり、異常がある場合は事故防止の為、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。そのまま使用されますと、事故やけがの原因になる恐れがあります。



○本体に衝撃を与えないでください。

各部が正常に作動しなくなる恐れがあります。また、故障や液漏れの原因になります。



○使用後は必ずクリーナー内部の液体を抜き出してください。

内部に残液があると、サビ付き等がおこり故障や性能不良の原因となります。

○圧縮空気の中の水分を取り除いてください。

水分を嫌う液体を扱う場合、圧縮空気の中の水分をエアフィルタ等を取り除いてください。(別売)

○移設したり、取扱責任者が変わった場合は本書を製品に添付するか、譲渡して下さい。

○本書を紛失、損傷した場合には当社または、販売店に発注してください。

○APDQ0-F は屋内専用です。屋外で使用される場合は雨風を防ぐカバー、小屋などを設けてください。

○このポンプを設置された業者の方、あるいは販売された方は本書を実際に取り扱う方まで必ず届けてください。

○5馬力以上のコンプレッサーをご使用ください。
(0.4~0.6MPa)

○本ポンプはドラム缶用に設計されています。それ以外の缶や用途には使用しないで下さい。

○エアを注入するとエア排気口からエアが吐出されます。排気口の向きには十分注意して下さい。

○満タンになる直前は、液体が吐出エアに混じって吹き出る場合があります。

○エアホースは、3/8以上の太いホースをご使用ください。
ホースが細いと圧力が落ちて機能が低下します。
(20PM カプラが付属しています。)

本運転

使用条件

1. JIS 規格 200L オープンドラム缶に使用します。
2. 供給エア圧力 : 0.4~0.6Mpa

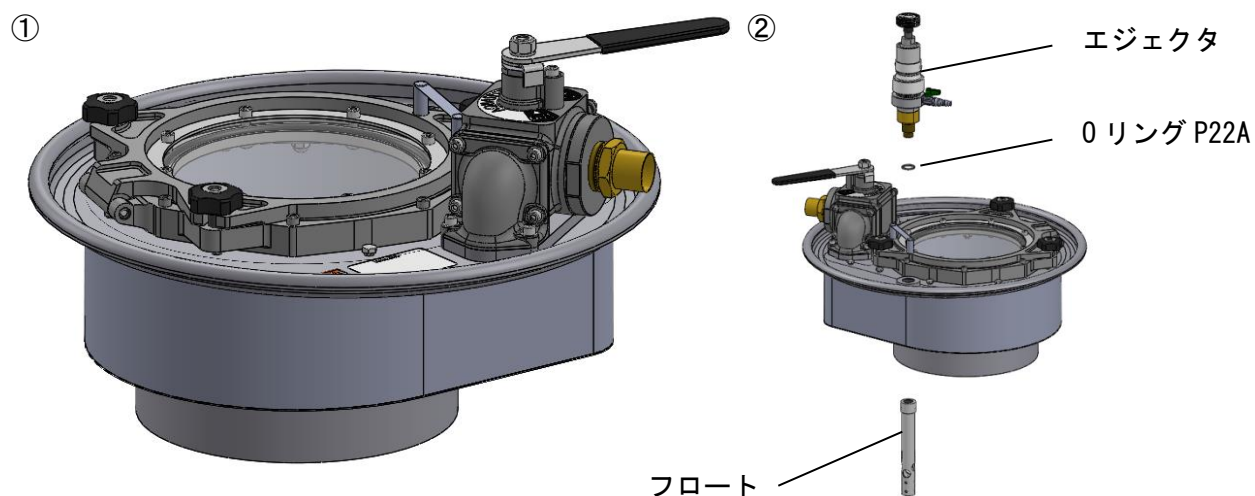


※オープンドラム缶は
付属しておりません。

組付け方法

※梱包で発送しております。また合計重量が 38.5kg ありますので
取扱い、組付け時は十分にご注意ください。
下記の①~⑩の手順で組付けをしてください。

①開梱した状態です、②のようにエジェクタ部とフロート部を組付けます。



③吐出用のパイプを
本体に取り付けます。

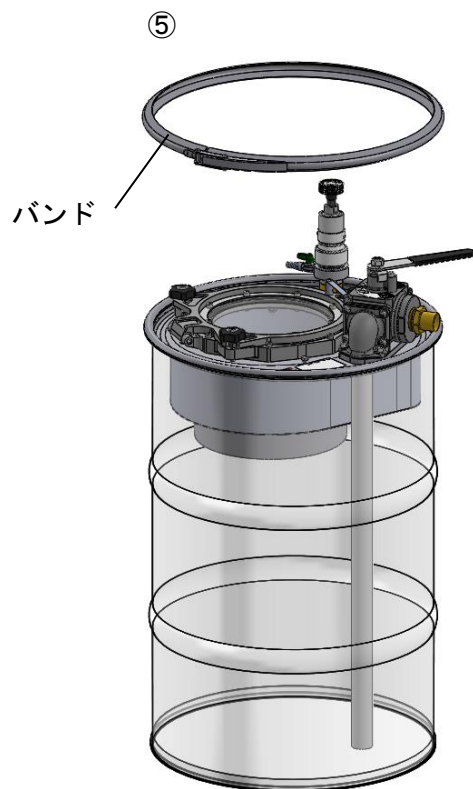
④お手持ちのドラム缶に
本体を乗せます。

吐出パイプ

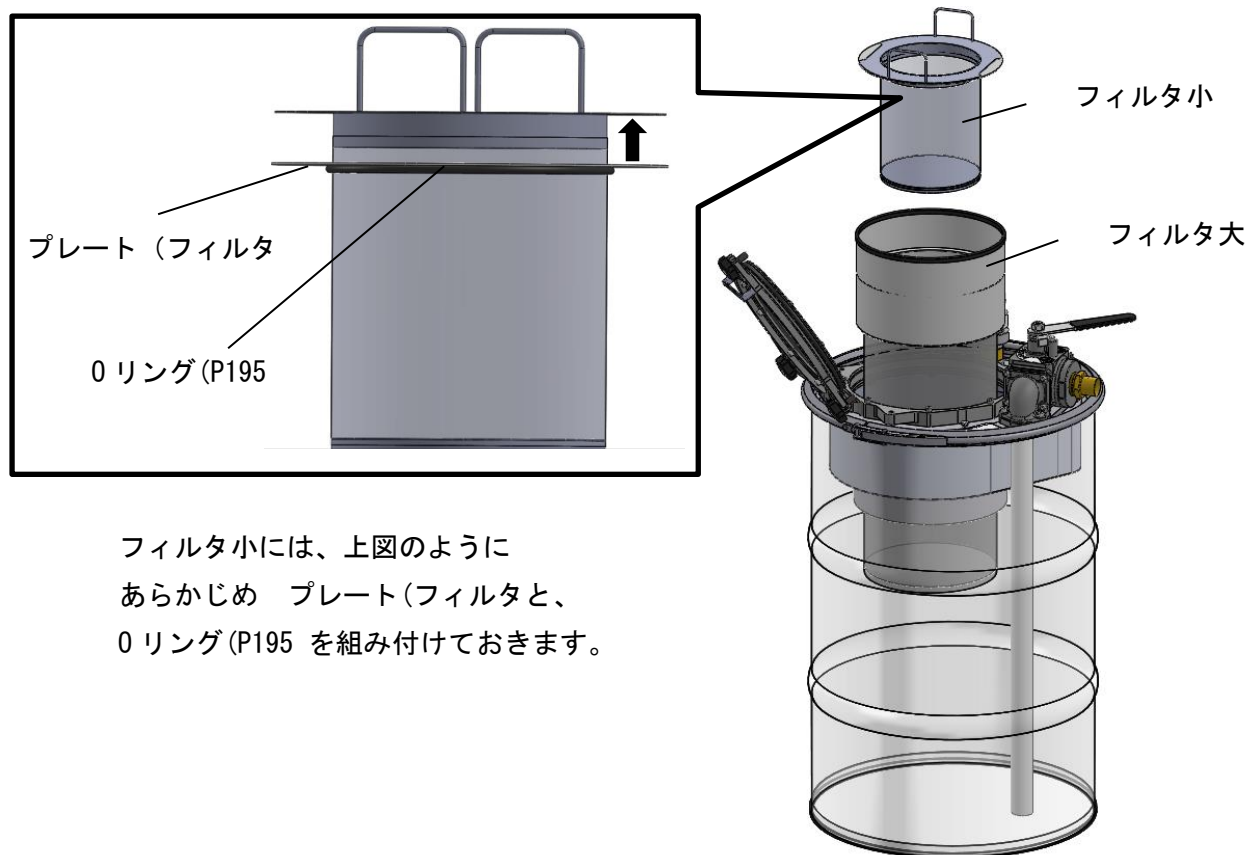
※重量が約 35kg ありますので
ご注意ください

⑤本体とドラム缶を、付属のドラム缶用バンドで
確実に固定します。

⑥ノブ 3 本を外し、フタを開けます。

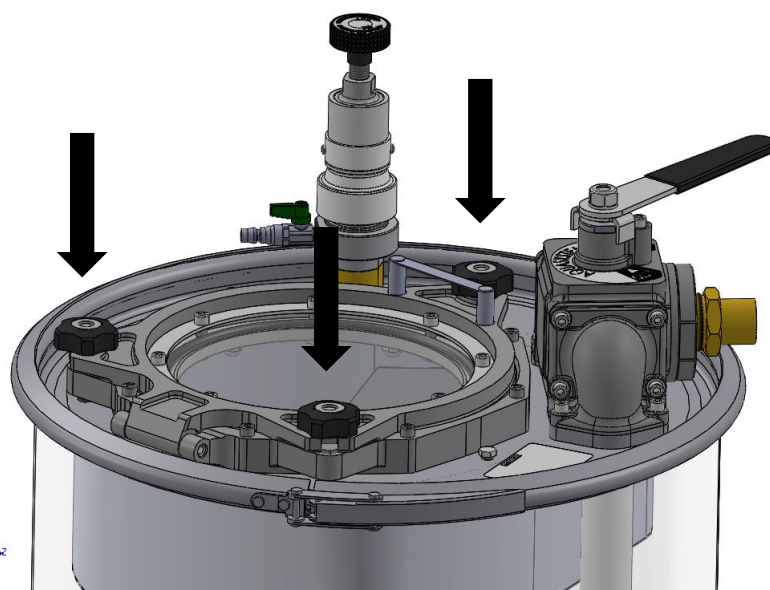


⑦フィルタ大、フィルタ小の順番で、本体内に組付けます。

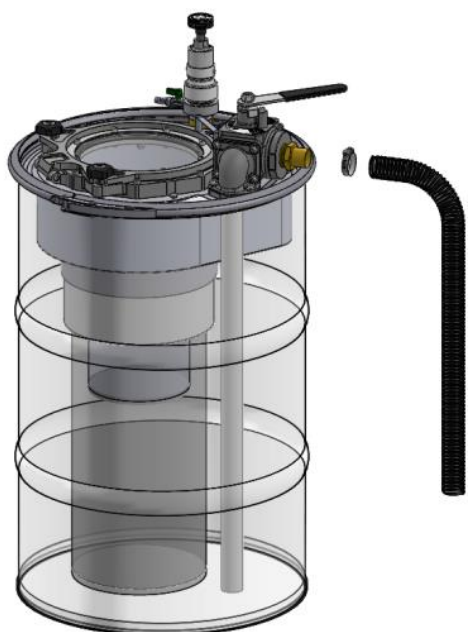


フィルタ小には、上図のように
あらかじめ プレート(フィルタと、
Oリング (P195) を組み付けておきます。

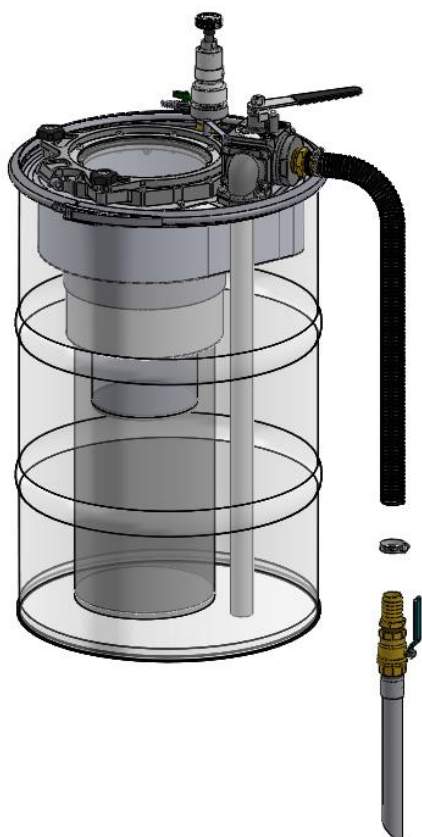
⑧フタを閉め、ノブ3本で固定します。



⑨本体側にホースとホースバンドを取り付けます。



⑩ホースの先端に、ボールバルブと吐出・吸入パイプ、ホースバンドを接続します。



これで組付けは完成です。

使用方法

1. ノブ3本が締まっていることを確認します。
2. 供給圧力が十分であることを確認します(0.4~0.6Mpa)
3. ①エジェクタ ASSY のエアカプラにコンプレッサの圧縮エアを供給します。
(日東工器 20PM 相当品)

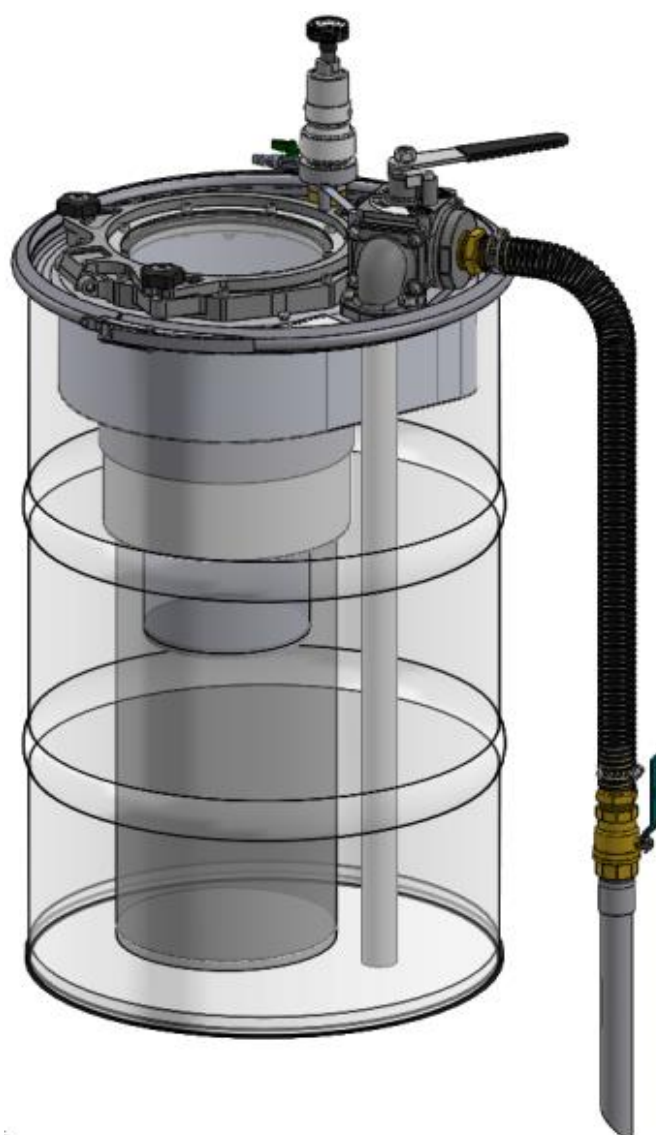
【ドラム缶に回収→停止する場合】

1. B のエアカプラに 20SM 相当のカプラ
(エアホース)を接続します。
2. A のエジェクタノブを IN 側に回します。
3. G のバルブを IN 側に回します。
4. B のエアカプラを開けます。
5. F のボールバルブを開きます。
これで回収が可能です。
6. F のボールバルブを閉じます。
7. B のエアカプラを閉じます。
これで停止します。

【ドラム缶から吐出→停止する場合】

1. B のエアカプラに 20SM 相当のカプラ
(エアホース)を接続します。
2. A のエジェクタノブを OUT 側に回します。
3. G のバルブを OUT 側に回します。
4. B のエアカプラを開けます。
5. F のボールバルブを開きます。
これで吐出が可能です。
6. F のボールバルブを閉じます。
7. B のエアカプラを閉じます。
これで停止します。

※缶内に圧力がかかっていますので、A のエジェクタノブを IN 側に回しておいてください。



こんなときには . . .

1. 吸入しない

- エアホースは、しっかりと接続されていますか？
- エアバルブは開いていますか？
- ドラム缶は変形・破損していませんか？
- ホース・フィルターにゴミ詰まりはないですか？

2. 吸入量が少ない

- ポンプへの圧力は低くないですか？ (0.4~0.6Mpa)
- エアバルブは全開ですか？
- 液体の粘度は高くないですか？

その他不具合につきましてはお客様で分解されずに、弊社修理受付係もしくはご購入されました販売店への問い合わせをお願い致します。

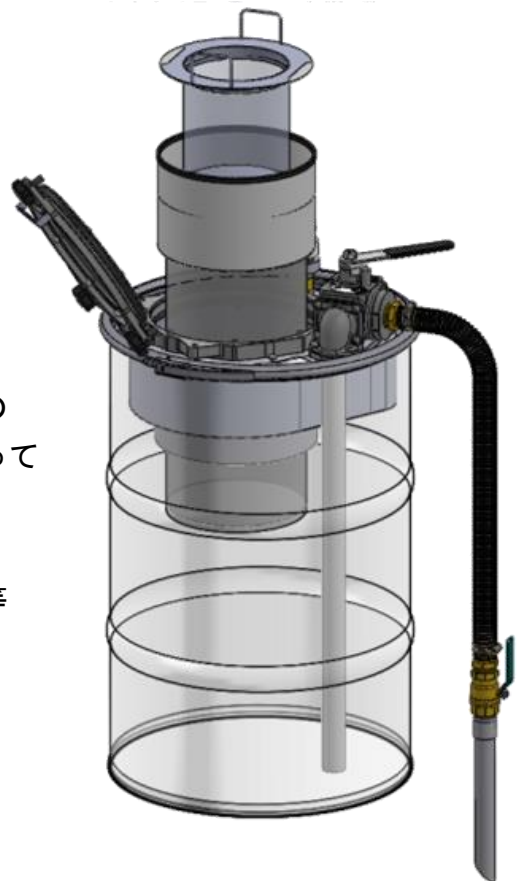
フィルターメンテナンス

内部にフィルタ小(150 μ)、フィルタ大(40 μ)が内蔵されています。

右図のように上フタを開けフィルタ小とフィルタ大を取り出してください。

材質がステンレスですので、水・洗浄液等での洗浄か、エアブロー等での洗浄を定期的に行ってください。

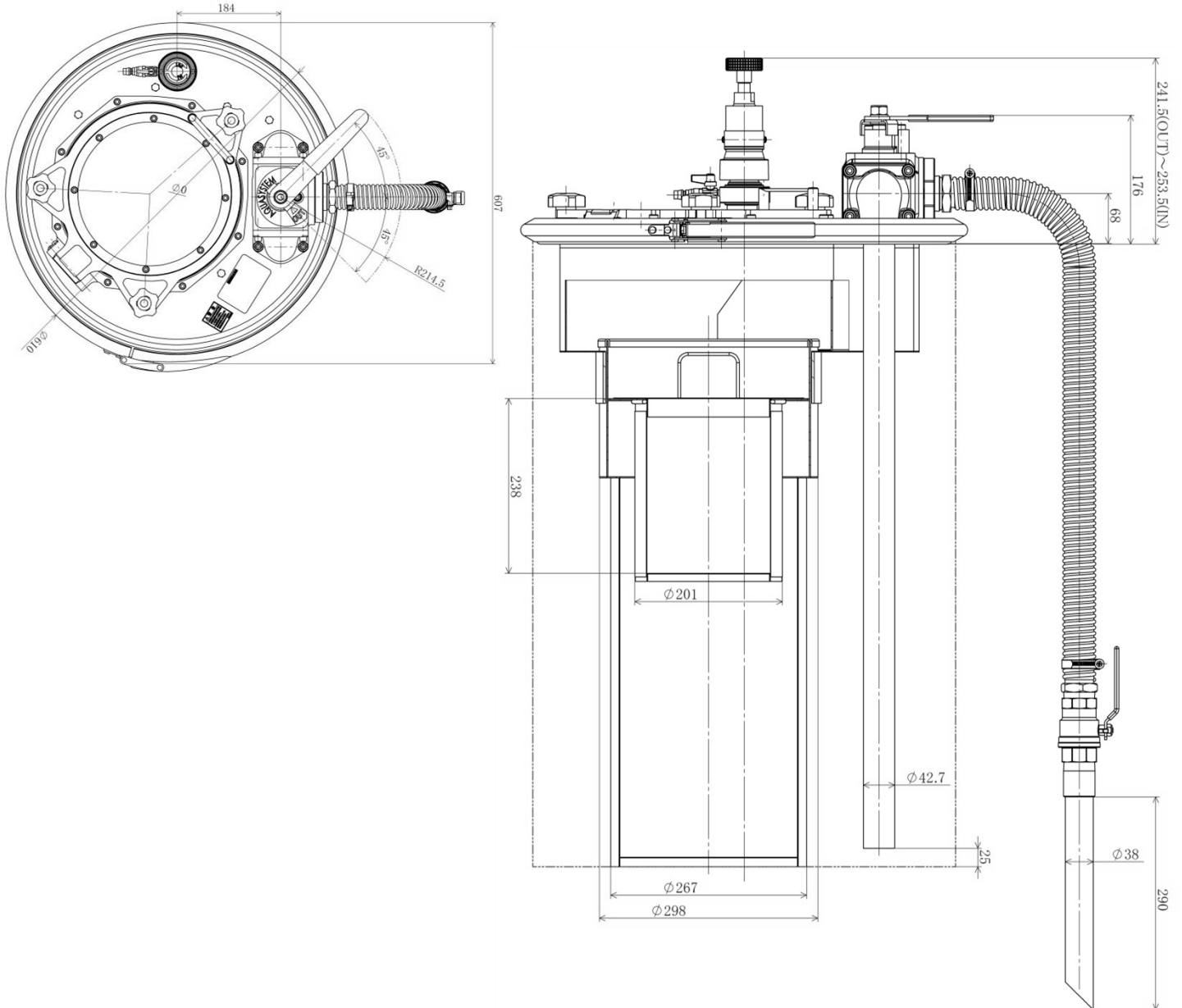
※洗浄時には保護メガネ等を着用し、キリ粉等の飛散には十分注意してください。

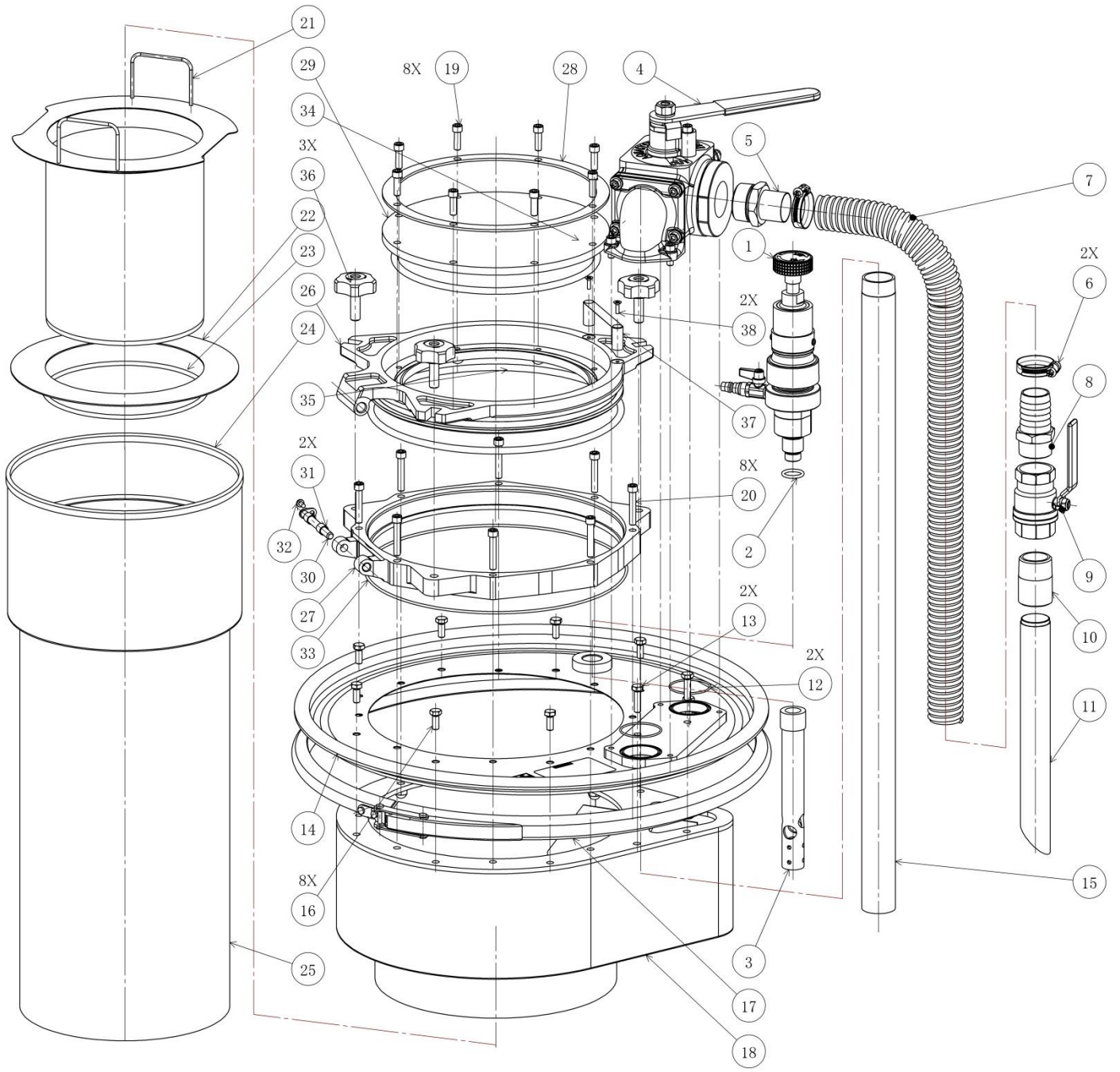


仕様表

型式	使用液体	吐出量 (L/min)	吸入量 (L/min)	揚程	材質			騒音 (dB)
					本体 ノズル	パッキン	ホース	
APPQ0-F	オイル (切削油)	160	110	2.5	アルミ	CRゴム	PVC2m	90

外形寸法





NO.	品名	品目コード	図番	材質	個数	備考
1	エシ ^ク タASSY	APQF100200	APD0467	シクミン	1	
2	リング ^ク	H413020022		フッ素	1	P22A
3	カ ^ク イ ^ク ハ ^ク イ ^ク 210ASSY	APQF100600	APD0514	シクミン	1	
4	ハ ^ク ル ^ク ASSY	APQF100200	APD0468	シクミン	1	
5	ホ ^ク ス ^ク ニ ^ク ッ ^ク ル	APQF901100	APD0499	C3771	1	R 1-1/2 φ 38
6	ホ ^ク ス ^ク リ ^ク ッ ^ク (特大)	H810582900		SUS430 + 鉄	2	SGT W2/12 35-50
7	ホ ^ク ス	H807724100		PVC	1	内径 φ 38, L=2000mm
8	ホ ^ク ス ^ク ニ ^ク ッ ^ク ル	H705871140		C3771	1	R1-1/4
9	ホ ^ク ル ^ク ハ ^ク ル ^ク	H501210014		C3604	1	Rc1-1/4
10	コ ^ク ネ ^ク ク ^ク ター	APDS900300	APD0186	A5056	1	
11	吐 ^ク 出 ^ク ・吸 ^ク 入 ^ク ハ ^ク イ ^ク	APDS900100	APD0174	A6063	1	
12	リング ^ク	H413080050		NBR	2	S50
13	六 ^ク 角 ^ク ボ ^ク ルト	M1011M0830		SUS304	2	M8×30
14	テ ^ク ソ ^ク イ ^ク タ	N184910000	APD0442	SPCC SS400	1	
15	片 ^ク ロ ^ク ン ^ク ク ^ク ニ ^ク ッ ^ク ル	APQF900900	APD0472	SGP	1	白メッキ 32A*850L
16	六 ^ク 角 ^ク ボ ^ク ルト	M1011M0820		SUS304	8	M8×20
17	外 ^ク レ ^ク ハ ^ク ー ^ク ハ ^ク ン ^ク ト ^ク	APOF915000		鉄	1	200L用 (φ 610)
18	フ ^ク ィ ^ク ル ^ク タ ^ク ウ ^ク ケ	APOF910000	APD0447	SPHC	1	
19	六 ^ク 角 ^ク 穴 ^ク 付 ^ク ボ ^ク ルト	M1021M0825		SUS	8	M8×25
20	六 ^ク 角 ^ク 穴 ^ク 付 ^ク ボ ^ク ルト	M1021M0845		SUS	8	M8×45
21	フ ^ク ィ ^ク ル ^ク タ ^ク 小	APQF901800	APD0525	SUS303	1	
22	プ ^ク レ ^ク ー ^ク ト (フ ^ク ィ ^ク ル ^ク タ)	APQF903600	APD0563	SUS303	1	
23	リング ^ク	H412020195		NBR	1	P195
24	トリ ^ク ム	EVCC902000		TPE, A5052	1	62-16-B-5T-15
25	フ ^ク ィ ^ク ル ^ク タ ^ク 大 (SUSメ ^ク ッ ^ク シュ ^ク 付)	APQF903400	APD0561	SUS303	1	
26	フ ^ク タ ^ク F (ア ^ク ッ ^ク ハ ^ク)	APQF903800	APD0566	AC2B	1	
27	フ ^ク タ ^ク F (ロ ^ク ア ^ク)	APQF903900	APD0567	AC2B	1	
28	カ ^ク ハ ^ク ー ^ク (フ ^ク タ ^ク カ ^ク イ ^ク F)	APQF904000	APD0582	SUS304	1	
29	フ ^ク タ ^ク (ア ^ク ク ^ク リ ^ク ル ^ク ・カ ^ク イ ^ク)	APQF904100	APD0583	PMMA	1	
30	ピ ^ク ン ^ク (フ ^ク タ ^ク シ ^ク ン ^ク F)	APQF904200	APD0584	SUS303	1	
31	ト ^ク ラ ^ク イ ^ク メ ^ク ット ^ク LF ^ク フ ^ク ッ ^ク シュ ^ク	M802100100		PTFE, 青銅	2	LFB1012
32	十 ^ク 字 ^ク 穴 ^ク 付 ^ク ナ ^ク ハ ^ク 小 ^ク ネ ^ク ジ ^ク	M1161M0502		SUS	1	M5×10
33	リング ^ク	H412090330		NBR	1	GS-330
34	リング ^ク	H412030250		NBR	1	G250
35	リング ^ク	H412020300		NBR	1	P300 硬度50°
36	ノ ^ク ブ ^ク	APQF904300		SUS, NA66	3	SK-53-WH NBK M&M M12×40
37	取 ^ク 手	H803A42J60		ZDC, ABS	1	A-42-J-6
38	サ ^ク ラ ^ク 小 ^ク ネ ^ク ジ ^ク	M3043M0515		ユニ ^ク ロ ^ク メ ^ク ッキ	2	M5×15

保証・アフターサービスについて

この度はアクアシステム製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
製品管理には万全を期しておりますが、万一、本製品が故障した場合の保証範囲は、次の通りです。

1. 修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番・製造番号・ご購入日などをご確認のうえ、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. 下記の場合、ご購入の日から12か月以内であれば、無償にて修理・調整を行います。

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。

※ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。

※また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し交換が必要と判断した部品については有償とさせていただきます。

3. なお、期間外や5項の免責範囲に記載の事項については有償扱いとなります。

また、当社純正部品以外を使用した場合のクレーム及び修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。(他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。)

4. いずれの場合でも、サービスセンターへの送料、また返送料はお客様負担となります。

5. 免責範囲(保証期間内でも次に該当する場合は有償となります)

- ① 誤った取扱い(取扱説明書と異なるご使用)により生じた故障。
- ② 弊社以外で修理・分解・改造されたことによる故障。
- ③ 保管上の不備や手入れの不備による故障。
- ④ 購入年月日を証明する書類がない場合(納品書・請求書等)
- ⑤ 使用頻度が著しく多い場合の部品の消耗。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてのご不明な場合は、下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

アクアシステム株式会社

〒522-0081 滋賀県彦根市京町 1-3-1 K1 ビル 201

【修理受付係】 Tel 0749-23-9123

MEMO

MEMO

AQUA アクアシステム株式会社
SYSTEM CO.,LTD. ☎ 0749-23-9123
FAX 0749-23-9122

〒522-0058 滋賀県彦根市京町1-3-1 K1ビル

E-mail aqua@aqsys.co.jp

<http://www.aqsys.co.jp/>